

おうしゅう市議会だより

No.77

6月
定例会

定例会後
年4回発行

発行日/令和7年8月14日 発行/奥州市議会

主な内容

次期議員の定数と報酬・政策提言	2
第2回定例会のあらまし	3
請願審査	6・7
一般質問	8



高校生から Message to the future. ひとこと

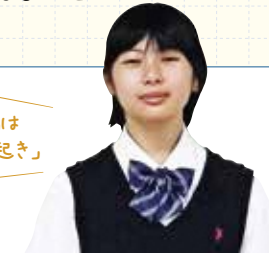
質問事項

- 1 将来の夢（職業など）とその理由を教えてください。
- 2 奥州市の一番好きな場所とその理由を教えてください。
- 3 あなたの考える理想の奥州市。「こういうまちにしたい！してほしい！」という思いをぜひ教えてください。

- 1 奥州市役所の職員として働くことです。インターンシップでの経験から目指す気持ちが強まりました。地域の発展のため自分にできることを探していきたいです。
- 2 前沢高校のJRC部の部室です。窓を開けると前沢の街並みを一望することができるからです。また、3年間この部屋で仲間と沢山の活動をしたことが最高の思い出になっているからです。
- 3 私はまず、地域の人々の活気があふれ、子育てがしやすい街にしたいです。ボランティアで長期休みに子どもと遊んだ経験から、地域が一丸となって子育てを支援する奥州市の方針に関心を持ちました。奥州市内で活動している団体等と連携し、子育てが今よりしやすい環境になればよいと思っています。

座右の銘は
「七転び八起き」

あべ ななこ
阿部 那々子さん
(前沢高等学校 普通科3年)



得意科目は
化学！

こした ゆうと
越田 悠斗さん
(水沢工業高等学校 電気科3年)



表紙紹介

江刺みちのく盂蘭盆まつり

毎年8月16日に開催される夏の風物詩です。初盆供養の灯籠流しや花火大会、郷土芸能の商店街巡演、江刺鹿踊「百鹿大群舞（ひやくしかだいぐんぶ）」が催されます。

表紙イラストのスマホ待ち受け画像をダウンロードできます。詳しくは奥州市議会ホームページへ。



あ と が き

あとひと月もすると稲刈りの時期となりますが、立秋を過ぎても異常に暑すぎて稲刈り作業も大変な時代になってきました。残暑はこれからが本番だと思われます。外での作業をされる方々には、くれぐれもご自愛ください。（高橋 善行）

議会広聴広報委員会

【委員長】 瀬川 貞清	【副委員長】 佐々木 友美子
【委員】 佐藤 美雪	門脇 芳裕 佐藤 正典 高橋 善行
小野 優	飯坂 一也 中西 秀俊

奥州市議会 ホームページ

奥州市議会

検索



FMラジオ「電波に乗せて！奥州市議会」放送中！

奥州エフエム（77.8MHz）
隔週木曜日 15:40 頃～15 分程度
（再放送 翌週火曜日 18:30 頃～）



音訳・点訳版議会だよりを希望の方は、
議会事務局までご連絡ください。

奥州市議会公式
Facebook



奥州市議会公式
X(旧Twitter)



奥州市議会公式
Instagram



次の定例会は8月29日(金)の
開会です。



おうしゅう
市議会だより

No.77

令和7年8月14日

発行/奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話/0197-34-1575(直) 編集/議会広聴広報委員会
印刷/川口印刷工業株式会社

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

次期市議会議員、 定数・報酬 ともに現状維持！

奥州市議会市政調査会では、来年3月に予定される奥州市議会議員選挙に向けて、議員の定数と報酬について、市民フォーラムを踏まえて議員間討議並びに意向調査を行ってきました。その結果、奥州市議会として次期議員定数・報酬ともに同数・同額の方針になりました。

これまでの流れ

令和4年10月～令和5年9月	議員活動実態調査
令和5年3月、8月	なり手不足や議会の在り方に関する講演会
令和5年9～10月	議員ヒアリング調査
令和6年12月	市民フォーラム(市内5地域)
令和7年2月	議員間討議



議員間討議



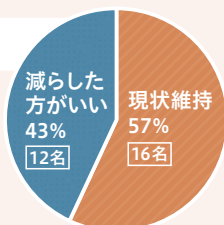
市民フォーラム

各議員の意向調査結果

議員定数について

現状維持の理由の主なもの

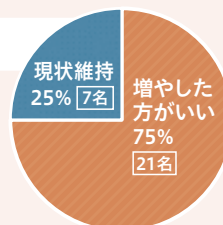
- 市民フォーラムでの市民意見を尊重
- 地域要望にならない地域の小さな要望や意見に対応するため
- 市民の意見を市政に流すパイプを狭めるべきではない
- 人口減少といえども活動範囲は変わらず、むしろ社会の多様化への対応が必要
- 将来の人口減に合わせて減とすべきだが、若い人たちが立候補しづらくなる。
- もっと市民に向き合う時間が必要



議員報酬について

「増やした方がいい」の理由のうち主なもの

- 若い世代が世帯を持ち、子どもを進学させられる額
- 近隣他市の事例、市政調査会の調査結果などから
- 定数を減らして報酬を増やす
- 子育て世帯のサラリーマン並みの報酬を
- 議員は報酬で立候補するわけではないが、ある程度は保障されるべき
- もし定数が現状維持なら報酬も現状維持



市内プロモーションの推進に関する

政策提言書

総務常任委員会では令和6年度から新たな取り組みとしてシティプロモーションの推進をテーマに掲げ取り組んできました。本市のシティプロモーションにおける課題もいまだ多く、総務常任委員会としては行政視察・市民と議員の懇談会・委員間協議・研修会など研鑽を重ね、次の事項を柱とする政策提言書を取りまとめ、市に対し提出し、この政策に基づく施策の実施について提言を表明しました。



提言1

地域資源を活用したイベントの提供及び市民参画による郷土愛の醸成に取り組むこと

具体的な取り組み

- ① 市民や企業との連携によるイベント開催
- ② 教育機関との連携や親子イベントの実施
- ③ 地域資源の掘り起こしや魅力の再認識を目的とした事業の実施

提言2

奥州市全体で情報発信力を強化し、市内外へ奥州市の魅力を知る機会の提供に取り組むこと

具体的な取り組み

- ① 市民における情報発信活動
- ② 職員における情報発信力の向上
- ③ 各種団体及び奥州大使との連携による情報発信

提言3

戦略的なシティプロモーションの推進に取り組むこと

具体的な取り組み

- ① 目的、ターゲット、成果指標の設定
- ② 各部署との連携による事業展開

令和7年
6月

第2回定例会のあらまし



第2回定例会は令和7年6月9日から7月2日まで開催され、市長からは条例の一部改正及び廃止、財産の取得、令和7年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、病院事業会計補正予算など計33件の議案等が提出され（追加議案を含む）、いずれも原案のとおり可決等しました。

議案審議



奥州市税条例の一部改正

特定扶養親族特別控除額の創設に伴い、関係規定を整備したこと、加熱式たばこに係る、たばこ税の課税標準の特例について規定したことなど地方税法等の一部改正に伴い、本件条例を一部改正しようとするもの（施行期日令和8年1月1日。たばこ税の課税標準の特例に係る改正部分については、令和8年4月1日）

胆沢プール条例の廃止

者保健福祉手帳1級所持者を加えるなど、医療費給付を行う重度心身障害者の対象を拡大することにより、精神障がい者の医療費負担を軽減し、もって精神保健福祉の充実を図るため、本件条例を一部改正しようとするもの（施行期日 令和7年8月1日又は公布の日）

胆沢プールは、市の個別施設計画において、使用が可能な限り運営を継続させ、大規模な修繕の必要性が生じた場合に廃止する計画としていたところ、使用が困難な規模の設備の劣化が認められたことから、これを廃止しようとするもの（施行期日 公布の日）

財産の取得に関し議決を求めること

除雪ドレーザについて、市の保有する車輛が老朽化していることから、除雪車更新計画に基づき、1台を更新しようとするもの

財産の取得に関し議決を求めること

消防団活動で使用する小型動力ポンプ積載車について、車両の経年劣化に伴う性能低下等により、消防団活動に支障を来さないよう計画的に更新を図っており、水沢地域3台、前沢地域1台の計4台を更新しようとするもの

財産の取得に関し議決を求めること

奥州湖交流館トレーニング機器について、奥州湖周辺エリア活用整備構想に基づき、カヌートレーニングセンター等として改修する奥州湖交流館に設置するため、取得しようとするもの

令和7年度奥州市一般会計補正予算（第3号）

強い農業づくり交付金事業、橋りょう長寿命化修繕事業などに所要の措置

をするもの。債務負担行為については、メイプル再生開設前プロパティマネジメント業務を新たに追加するもの

令和7年度奥州市病院事業会計補正予算（第1号）

総合水沢病院の整形外科部門において更新を要する手術用機器の購入等に対応するため、資本的収支において所要の措置をするもの

令和7年度奥州市一般会計補正予算（第4号）

新医療センター整備に当たり、建設予定地の測量委託などに所要の措置をするもの

令和7年度奥州市病院事業会計補正予算（第2号）

新医療センター整備のため、病院事業が負担すべき費用について、収益的支出及び資本的収支において所要の措置をするもの





左から菅原由和議長、菅原明議員、小野寺重議員

議員15年以上

菅原 由和 議長

議員20年以上

小野寺 重 議員
菅原 明 議員

行われましたので紹介します。

本会議場において市議会定例会の
本会議に先立ち、表彰状の伝達が

議員表彰

全国市議会議長会
第101回定期総会
において、当市議会
議員3名が永年に渡

り地方自治の発展に寄与した功績

により、表彰されました。6月9日、

議員の賛否公表

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。
これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

※公＝公明党、奥ノ＝奥州ノート、無＝無会派
※議長は採決には加わりません。

採決結果一覧表

賛成＝○ 反対＝×

議席 会派	氏名																												採決結果
	奥和会								奥州みらい					日本共産党				新奥会			公		奥ノ		無				
	門脇芳裕	高橋善行	東隆司	千葉和彦	小野寺満	高橋浩	中西秀俊	藤田慶則	菅野至	佐々木友美子	千葉康弘	廣野富男	及川佐重	小野寺重	佐藤美雪	瀬川貞清	千葉敦	菅原明	今野裕文	小野優	及川春樹	高橋晋	飯坂一也	阿部加代子	穴戸直美	佐藤正典	加藤清	菅原由和	
	議案																												
第2回6月定例会	議案第15号(修正案)	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○		○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	—	否決
	議案第15号(原案)	○	○	×	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	—	可決
	請願第10号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	—	採択
	請願第11号	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	—	不採択
	請願第12号	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	—	不採択
	請願第13号	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	—	不採択
	請願第14号	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	—	採択
	請願第15号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	採択
	請願第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	採択
	議案第19号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	—	可決
議案第20号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	—	可決	

議案番号	案件名
議案第15号(修正案)	6月18日分 「令和7年度奥州市一般会計補正予算(第3号)」に対する修正案 ※メイプル再生開設前プロパティマネジメント業務委託料等の関連予算863万6千円の削除を求めるもの
議案第15号(原案)	
請願第10号	7月2日分 消費税インボイス制度の中止を求める意見書採択についての請願
請願第11号	
請願第12号	
請願第13号	
請願第14号	
請願第15号	
請願第16号	
議案第19号	
議案第20号	

詳しい内容を知りたい方は
こちらの2次元コードから
ご覧下さい



6月18日分



7月2日分



国内24議会が 行政視察に みえました



令和6年度に視察のため奥州市議会を訪れた議会
数は24議会、201名でした。視察の内容を見ると
「議会改革」、「議会広報」などに高い関心が寄せら
れました。多くの議会の皆様にお越しいただき、あ
りがとうございました。

令和6年度 受入状況一覧

視察日	来訪市等	人数	視察項目
4月25日	福井県 鯖江市議会	10	議会改革について
5月9日	熊本県 大津町議会	7	議会改革について
5月10日	石川県 能美市議会	6	政策サイクルについて
5月24日	岩手県 紫波町議会	9	政策形成サイクルの取り組みについて
7月9日	茨城県 つくばみらい議会	8	議会広報のリニューアルについて
7月10日	滋賀県 市議会議長会 (大津市、東近江市、 野洲市、長浜市、 高島市、米原市、 彦根市、近江八幡市、 守山市、栗東市、 草津市、湖南市、 甲賀市)	29	議会基本条例の検証について
7月11日	長崎県 諫早市議会	7	議会広報活動について
7月18日	山形県 鶴岡市議会	12	議会運営及び議会改革の取り組みについて
7月19日	三重県 津市議会	15	議会改革の取り組みについて
7月24日	北海道 岩見沢市議会	10	議員間討議について
7月31日	佐賀県 唐津市議会	5	奥州地産地消わくわく条例について
視察日	来訪市等	人数	視察項目
8月6日	神奈川県 相模原市議会	4	議会事務局における生成AIの活用について その他、議会改革の取り組みについて
8月20日	山形県 高畠町議会	8	議会改革の取り組みについて
8月22日	岩手県 陸前高田市議会	8	議員間討議について
8月22日	北海道 釧路市議会	1	議会改革について
10月7日	福岡県 志免町議会	10	議会改革についてほか
10月31日	埼玉県 北本市議会	8	議会改革について
11月7日	秋田県 男鹿市議会	7	議会だよりの編集等について
11月8日	岩手県 北上市議会	3	決算審査についてほか
12月25日	山形県 米沢市議会	4	奥州市子どもの権利に関する条例について
1月17日	宮城県 蔵王町議会	7	議会改革の取り組みについて
1月21日	福島県 伊達市議会	11	議会ICTについて
1月22日	神奈川県 藤沢市議会	11	災害時のタブレット端末の活用についてほか
1月22日	北海道 帯広市議会	1	議会運営及び議会改革の取り組みについて

請願審査

令和7年第2回定例会において、7件の請願が審議されました。全て常任委員会に付託されましたので、各常任委員会における審議の様子をお知らせいたします。なお、総務常任委員会に付託された請願第10号は、第1回定例会総務常任委員会において、継続審議とされていたものです。

・総務常任委員会

請願第10号

「消費税インボイス制度の中止を求める意見書採択についての請願」

インボイス制度が小規模事業者や個人事業者を中心に大きな負担となっている実態が明らかになり、この制度が地域経済の健全な循環を妨げている可能性も感じられ、地域全体の活力低下につながりかねないとの意見が出されました。また公正な課税を目的に導入された制度ではありますが、昨今の物価や人件費の高騰などに加え、制度が非常に複雑であるための新たな事務負担、税負担や免税事業者の排除などが事業者に深刻な影響を及ぼしており、地域経済を支える事業者のため、制度の廃止や抜本的な見直しが必要であるとして請願は採択し、関係各所に対して意見書を提出することで決しました。

請願第15号

「消費税率5%以下への引下げを求める意見書採択についての請願」

コロナ禍以降、原油高や円安による物価高騰が続き、国の支援策もあるが、市民生活の困難は続いています。特に低所得者層、子育て世代や高齢者にとって毎日の買物が不安材料となっており、消費税はその性質上、所得に関係なく一律にかかる税であり、生活困窮者層に大きな負担を与えていること、消費税の減税は実効性のある生活支援策であり、個人消費の刺激策としても経済の下支えにつながると考えられるという意見が出され、請願は採択し関係各所に対して意見書を提出することで決しました。

なお、物価高騰等で市民生活が厳しくなったことは理解しているが、消費税は年金、医療、介護といった社会保障を支える重要な財源であり、これを大幅に減らすことは将来の福祉の切捨てにつながりかねず、必要なのは、困

・教育厚生常任委員会

請願第11号

「新医療センター整備について抜本的な見直しを求める請願」

本請願は、医師確保の見通しが不透明であり、医療資源を適切に集約すること、見込みではなく現在の医療資源での収支計画にすること、住民合意が不十分であることに触れ、新医療センター整備基本計画の抜本的見直しを求めるものでした。

討論では、本請願に賛成する委員からは、計画の白紙撤回を求める内容ではないので、収支計画に問題があるまま進めるのではなく、柔軟な計画になるよう見直しが必要であること、地域の医療現場からの声に耳を傾ける必要

慮しても建設を進めるべき、また、県立病院との統合再編は県も市も考えていない状況の現時点では現実的でないとの意見が出されました。

採決の結果は賛成少数であり、当委員会として本請願は不採択とすべきものと決しました。

請願第14号

「新医療センターの早期建設を求める請願書」

本請願は、総合水沢病院が老朽化及び耐震性に問題がある現状に触れ、市民の期待にこたえて病院機能の充実、診療体制の確立を図り早期の建て替えを求めるものでした。

討論では、本請願に賛成する委員からは、早期建設が地域医療の維持発展に不可欠であること、施設の老朽化と耐震性の問題を解決するために新医療センターが必要であること、さらに地域住民の医療ニーズに応えるための診療体制の充実が求められている点が挙げられました。

一方、反対する委員からは、財政負担の重さや医師確保の不透明性に対する懸念、建設ありきではなく他の選択肢も含めた議論が必要であること、具体的な安全対策が求められる現場の状

がある点などが挙げられました。

一方、反対する委員からは、現状の総合水沢病院の老朽化や耐震性の問題を解決するために新医療センターが必要であることや、2040年問題を見据えて、地域医療を維持するためには新たな施設が必要であり、県立病院や民間医療機関との連携強化が重要であることが述べられました。

採決の結果、可否同数であったことから委員長裁決となり、当該裁決においては、耐震性能に問題があり老朽化した現在の総合水沢病院の環境に触れ、新医療センターの建設はこの問題を早急に解決するために必要であるとの観点から、当委員会として本請願は不採択とすべきものと決しました。



地域医療を支える水沢病院

請願第12号

「新医療センター整備基本計画の見直しを求める請願」

況に対する不安が示されました。採決においては賛成多数であり、当委員会として本請願は採択すべきものと決しました。

請願第16号

『「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書提出の請願」

本請願の趣旨は、学校の教育課程における学習指導要領の内容が「カリキュラム・オーバーロード」の状態にあることから、この解消のため次期学習指導要領の改訂に当たり標準授業時間の削減等を含めた精選を求めるものであります。「カリキュラム・オーバーロード」とは、教育・学習内容が質量ともに過剰となることで児童生徒と教職員の両方に過度な負担がかかっている状態のことを指します。

討論では、不登校の増加や特別支援学級等への在籍児童生徒の増加が「カリキュラム・オーバーロード」に起因するかどうかは明確ではないものの、現状に鑑みると改善を求める必要性が一定程度あるとの意見が出され、本請願は採択し、関係各所に対して意見書を提出することで決しました。

本請願は、新医療センター整備基本計画の見直しや、総合水沢病院における耐震化を早急に進めること、県立病院との統合再編の可能性を探ることが求められていました。

討論では、本請願に賛成する委員からは、市民や医療従事者の安全を確保するために既存の総合水沢病院の耐震化を早急に進めるべきとの意見が出され、医師確保の現実的な困難さや財政負担を考慮した上で、県立病院との統合再編という選択肢を探る必要性が強調され、統合再編の可能性の検討は避けては通れないとの考えが示されました。

一方、反対する委員からは、総合水沢病院の耐震化や老朽化対策について、耐震診断やその後の検討を含めると改修には莫大な費用と時間がかかるため、現実的ではないとの指摘がありました。また、県立病院との統合再編についても、現時点では県にはその考えがないことから、統合の可能性を探ることは難しいとの意見が述べられました。

採決の結果、可否同数であったことから委員長裁決となり、当該裁決においては、市民の命を守る地域医療の充実が市の最重要課題であり、新医療セ

質問議員

阿部加代子／公明党	8P	千葉 敦／日本共産党	12P
中西 秀俊／奥和会	8P	中央 直美／奥州ノート	12P
高橋 浩／奥和会	9P	及川 佐／奥州みらい	12P
佐々木友美子／奥州みらい	9P	瀬川 貞清／日本共産党	13P
菅原 明／日本共産党	9P	廣野 富男／奥州みらい	13P
飯坂 一也／公明党	10P	千葉 康弘／奥州みらい	13P
佐藤 美雪／日本共産党	10P	小野寺 重／奥州みらい	14P
門脇 芳裕／奥和会	10P	佐藤 正典／奥州ノート	14P
小野 優／新奥会	11P	及川 春樹／新奥会	15P
菅野 至／奥州みらい	11P	今野 裕文／日本共産党	15P
高橋 晋／新奥会	11P		

ここが聞きたい!

一般質問



キジロクくん

今定例会の一般質問は、21人の議員が登壇しました。質問、答弁の要旨を掲載します。(文責は質問議員)

防犯カメラの設置の考えは



高橋 浩 議員
奥和会



質問 市内公共施設や小中学校への防犯カメラ設置による、防犯対策と危機管理について伺う。

市長 必要性は認識しており、現在本庁舎の一部に設置しているが、今後必要性や効果を検証しつつ設置を検討していく。

教育長 市内5校には設置しているが、未設置校への早急な設置を検討していく。

森林環境譲与税の活用は

質問 林業法人の把握と譲与税を活用した経営支援及び、その他活用について伺う。

市長 法人の管轄は県のため、把握は難しいが、情報収集に努めていく。

譲与税の趣旨から、経営支援は難しいが、公共施設等の木材使用には活用しており、水沢中学校建て替えや、公園の手摺等には使用している。旧伊手小学校ウッドデッキ補修にも使用可能と認識している。



修繕が必要な旧伊手小学校のウッドデッキ

RSウイルスワクチン接種への助成は



阿部 加代子 議員
公明党



質問 妊婦が接種することで、新生児に抗体が移行されRSウイルスにかかりにくくなり、重症化を予防できる。また高齢者も予防が必要である。助成の実施予定について伺う。

市長 国の動向を注視し、先進地等を参考にあわせて検討する。

5歳児健診の取り組み状況は

質問 国は、令和10年度までに全市町村での実施を目指している。当市の取組状況を伺う。

市長 小児科医が不足している現状がある。健診方針、体制について検討をする。

災害時のペットの同行避難への考えは

質問 市内には、大規模災害時にペットと同行避難できる避難所が無い。国と県では、災害時はペットとの同行避難を推奨しているが、

市長 ペットとの同行避難は、本年度中に基本方針を、来年度は設置訓練を行うように、先進地の事例を参考に検討する。



大切なペットと同行避難可能な体制整備を

※2 カリキュラム・オーバーロードの改善は



佐々木 友美子 議員
奥州みらい



質問 現行の国の教育課程基準における授業時数及び学習内容の多さが課題とされているが、その改善について伺う。

教育長 以前に比べ標準授業時数を大幅に超える学校は減少している。今後とも過当たりの授業時数の適正化や指導の重点化、行事などの精選等、教育課程の改善を各学校に指導していく。

ひきこもり等支援の取り組みは

質問 ひきこもり等支援施設の運営状況や課題、重層的支援体制整備事業における取り組みについて伺う。

市長 「フラタネスクエア奥州」と「ほっと・ひろば」を開設しており、運営方法や課題は異なっているが、どちらも長期的な視点での支援が必要である。関係機関との連携促進を図ることを目的に、「ひきこもり支援会議」を定期的に開催し、情報交換・課題の共有・支援策の検討を行っている。



週3回開設のフラタネスクエア奥州

江刺工業団地の渋滞緩和策を



中西 秀俊 議員
奥和会



質問 経済の持続発展に関わる課題の現在の道路4車線化を、早期に実現するよう期待する。

市長 4車線化による、利便性や経済性等を評価した結果、渋滞緩和に効果があるという評価となった。本年度中に詳細設計を進め、債務負担行為を活用した前倒し等で、早期着工、完成を目指したい。

地域防災力の質的向上は

質問 梁川東沢目地内3部消防屯所は、地域住民の理解のもとに喜ばれる施設整備を。

市長 早急な対応が必要な施設として、計画どおり優先的に整備を進める。施設の在り方については、消防団のみではなく、地域も巻き込んで協議していく。

(この他に、江刺田瀬1周辺への休憩施設整備について質問)



ミーの鉄瓶でも防災力アップだピン!

買い物困難者への支援を



菅原 明 議員
日本共産党



質問 運転免許証を返納された高齢者は、完全に買い物困難者になっている。当市の現状と今後の支援策を伺う。

市長 買い物支援のニーズは増々高まるものと認識している。今後も官民が連携して地域の困りごとや、課題解決が図られるよう伴走支援を進めていく。

衣川地域に防災無線の復活を

質問 衣川地域に33年間設置されてきた防災無線が、法律改正で放送でなくなった。市民から行政広報、時報チャイム、農林情報および河川情報システムを備えた防災体制が要望されている。強化策について伺う。

市長 市町村合併後に市全域への導入を検討したが、広域をカバーするには多数の設備が必要ことや、気象条件によって聞き取りにくい場合があることなど課題があるため、費用対効果を考慮し見送るといった判断をした。より効果的な防災情報等の周知の方法について研究していきたい。



衣川地域に設置されてきた防災無線

用語解説

※2 カリキュラム・オーバーロード

学校における教育・学習内容が質及び量ともに過剰又は過密となることで、児童生徒や教員に過度な物理的・精神的な負担がかかっている状態のこと。

用語解説

※1 5歳児健診

5歳は社会性が高まり、発達障害が認知されやすい時期であること等を踏まえ、乳幼児の発育・発達や健康の維持・増進、疾病の予防、悩みを抱える保護者等の早期発見や支援、児童虐待の予防・早期発見等の観点から、実施する自治体が全国に広がり始めている。



二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。

飯坂 一也 議員
いざか かずや
公明党



中小企業に対する伴走型支援の強化を

質問 中小企業を取り巻く環境の変化が激しく、今後においては伴走型支援のさらなる拡充が必要ではないか。

市長 2名の産業支援コーディネーターが対応している。必要に応じて専門機関につなげていきたい。

質問 中小企業における脱炭素の取組への具体的な推進策が必要ではないか。

市長 国等の支援策を情報提供する他、フォーラムを開催するなど、機運の醸成に努めている。

平和学習の推進を

質問 世界情勢が不安定になってきていると言われる。平和学習を改めて見直していく考えがあるか伺う。

教育長 平和学習に関連する教材と関連させながら、子どもたちが平和の意味を考える力を育てていきたい。



平和学習のため、さらなる活用を。高藤實記念館

佐藤 美雪 議員
さとう みゆき
日本共産党



医療崩壊の危機の中で市が果たす役割は

質問 日本病院会など6つの病院団体と日本医師会が共同声明を発表し、全国で医業本体が赤字の病院は7割にのぼることがわかった。地域医療崩壊の危機の中で市立医療施設が果たす役割は重要であると考えますが、見解を伺う。

市長 全国的に病院経営が極めて厳しい状況にある他、政党間で病床削減の合意がされたことは承知している。医療体制の先行きが不透明さを増している中、市民が必要な医療を受けられないという事態は許されない。市立医療施設の役割が重要になってくるとの認識からも新医療センター整備計画を進めていく。

質問 総合水沢病院において民間クリニック医師が執刀し、整形外科手術が行われたとのことだが、実績とその他の連携状況について伺う。

病院事業管理者 実績は令和6年度、28件。バックベッドの提供や前沢診療所においてCT検査や骨密度検査の受託を行っている。



求められる民間クリニックとの連携強化

門脇 芳裕 議員
かどわき よしひろ
奥和会



中学校の部活動の対応は

質問 既存の施設で使用できない種目は。

市長 体育施設ではフットサルなど施設損傷の恐れがある競技など他の利用者に影響を及ぼす場合などは利用の制限または条件を付した上での利用としている。

質問 今後の部活動改革の進み方は。

教育長 「部活動の在り方検討委員会」で様々な検討を行った。また、今年度より地域部活動を「学校部活動に準ずる団体」として、地域クラブ活動制度へ登録する仕組みを推進する。最終的には教育委員会が承認する形となり「部活動に準ずる団体」である事を明確にするとともに、各施設側が混乱しないように周知する。

今後の小山東幼稚園の在り方は

質問 今後の小山東幼稚園の在り方は。

市長 保護者の意向を確認し地元の意見を聞き、教育委員会と協議を進めロードマップの見直しに反映したい。



園児数の減少が続く小山東幼稚園

小野 優 議員
おの ゆたか
新奥会



事業者とのDXの進捗状況は

質問 企業DX支援や入札・請求関連の電子化の状況は。

市長 企業DX支援については現場の声を更に反映して第4版で内容を改めた。入札関連の電子化は費用対効果を見極めながら、事業者と情報交換していく。請求関連はシステムのアップデートや更新状況をみながら進めていく。

次期総合計画策定をどう考えているのか

質問 次期総合計画の策定に向けて、総合戦略や奥州市版SDGsとの整理をどう考えていくのか。また、考え方や指標など、市民にとってわかりやすく組み立てていってほしいが、考えについて伺う。

市長 指摘はそのとおりであり、総合戦略との一体感や奥州市版SDGsを意識し、わかりやすい総合計画を作っていく。



現在の第2期総合計画は令和8年度まで

菅野 至 議員
かんの いたる
奥州みらい



奥州市の文化財の現状と今後の在り方は

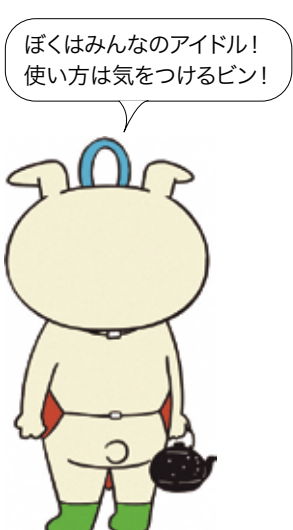
質問 市内の文化財について、永続的な保護と、人の目に触れる機会をつくることが重要であるが、文化財保存活用地域計画の作成状況や、地域振興への可能性も踏まえ、市内文化財の現状と今後の在り方について伺う。

市長 地域振興や奥州市のPRにおける文化財の可能性については、その情報を市外へ発信するとともに、コロナ禍以降に地方移住などへの関心が高まっている現状を踏まえ、市内の歴史的資源を確実に保存活用し、関係人口や二地域居住への拡大の効果が期待されると考えている。

教育長 市内には多くの文化財が存在しており、近年未指定の文化財も保存の対象となっているため、その所在把握に努めているが、その一部は十分に活用されていない状況にある。そのような課題を解決するために、文化財保存活用地域計画を作成中だが、その中では、官民問わず、地域総がかりで文化財を保存活用していく方法を検討し記載していく予定である。



教育委員会が発行した「奥州市の文化財」



※4 おうしゅうたろうの使い方

おうしゅうたろうのイラストデータを使用する際には特定の場合を除いて申請が必要になる。使用する際は「奥州市公式マスコットキャラクター使用取扱要領」の確認が必要。



※3 産業支援コーディネーター

市内の中小企業を総合的に支援し、地域産業の活性化を図るため、中小企業の振興に関する助言及び指導並びに情報の収集及び提供等を職務とする市職員のこと。



二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。

千葉敦 議員
日本共産党



物価高騰に苦しむ中小業者へのさらなる支援は

質問 新たな国の交付金を使って、物価高騰に苦しむ中小業者への支援や岩手県の賃上げ支援金への上乗せ支援を行うべきでは。

市長 これまでの実施事業の成果や地域経済の状況の見通しを勘案し、必要な分野により効果の高い施策を検討していく。

前沢牛の知名度をさらに上げるには

質問 前沢牛の銘柄統一で、出荷頭数が増え評価が高まっている。松坂牛や神戸牛等、他の有名産地と比べ、知名度はまだ低いと思うが、対応はどうか。

市長 県の新種雄牛「菊美翔平」の評価が高まっている。この点も考慮して、前沢牛について、市は前沢牛協会を通して、プロモーション企画等をＪＡも含めて協議していきたい。



知名度向上を目指すべき

穴戸直美 議員
奥州ノート



新医療センター整備計画に市民の声を

質問 市民負担や経営の持続可能性に対する不安が残る。市民合意の在り方や医師確保、財源の見通しなど整備計画の実現性は。

市長 市民説明会での意見を踏まえた大幅な修正は不要と判断。建設候補地の変更予定もない。医師確保は東北医科薬科大学との協定を進め、財源は病院事業債や基金等を活用する。

未来投資と生活基盤財源配分の在り方は

質問 人口減少や物価高騰が進む中、将来の財政負担への懸念が心配される。公共施設や上下水道など生活基盤整備と未来投資の財源配分は。

市長 生活基盤整備には優先順位を設け、有利な財源を活用して対応。未来投資は基金の上振れ分を活用し、実現性を踏まえて推進。効果の見える化も行い、丁寧な情報発信をしていく。



人口減少と将来負担の不安

及川佐 議員
奥州みらい



行政として戦後80年の取り組みを拡大せよ

質問 市として非核平和都市宣言を行っており、戦後80年の今年、行政の取り組みは。

市長 特別な取り組みは考えていないが従来から取り組んできた戦没者慰霊祭等を行っていく。

コミュニティ施設の効果・目標の明確化を

質問 新医療センターには病院と併設コミュニティ施設があり、コミュニティ施設には25・8億円の予算が計上されている。新たな公共施設として明確な効果や目標を定めるべきでは。

市長 新医療センター建設を着実に進めながら意見をいただき検討する。

質問 令和6年度総合水沢病院は、経営強化プランの収益目標を下回っており赤字拡大に繋がるのでは。

市長 昨年度に比べ入院患者数等の増加があり、改善するための努力をしていく。



コミュニティ施設部分の建設費は 25.8 億円

瀬川貞清 議員
日本共産党



PFASによる環境汚染について伺う

質問 発がん性物質が指摘されているPFAS（ピーファス＝有機フッ素化合物）による環境汚染が全国の河川・地下水に広がり、水道水や住民の血液からも高い濃度で検出されるなど、国民の不安が高まっている。

奥州市の汚染調査の現状と半導体関連企業による使用・管理の実態について伺う。

市長 国が行う公共用水での調査では暫定指針値を超える報告はなされていないことから、市としての調査はしていない。個別企業の状況は把握していない。国の動向を注視しながら研究を進めていきたい。

（二）他に、国保税の諸課題についても質問）



環境破壊は許しません

廣野富男 議員
奥州みらい



病院利用者の安全確保が第一

質問 総合水沢病院利用者の安全確保を第一に耐震補強が公立病院等への転院を早期に対応した上で、市民合意のもと新医療センター整備を検討すべきと考えるがいかがか。

市長 新医療センター整備の理由の一つに、現病院の耐震性能の低さがある。病院の機能を継続させるために医療拠点の整備が必要。耐震補強工事には相当の時間を要するため、日頃のリスク軽減の取組や危機管理のレベルを上げ対応するのが現実的。整備計画に対し疑問や不安の声があるのは承知しているが次の基本設計作業を進めながら、疑問点の解消や修正は可能。請願審査や地域医療懇話会の状況をみて最終的な判断をしたい。

病院事業管理者 入院機能は必要。現段階での

入院患者の転院や受入停止は考えていない。耐震対策は、地震発生時の初動対応をはじめ、毎年、年3回の避難訓練を実施し被害の軽減対策を行っている。



人命確保を最優先に

千葉康弘 議員
奥州みらい



公共施設のトイレ洋式化を

質問 トイレの洋式化、避難所のバリアフリー、オストメイト対応トイレについて伺う。

教育長 幼稚園、小中学校の洋式化率58・3％国の補助金を活用し、令和11年度までに全小中学校の校舎のトイレ洋式化を進めたい。

市長 避難所の洋式化率67％、利用者の意見を伺いバリアフリー等の環境整備に努める。

飼料高騰への補助を

質問 飼料高騰、牛肉価格の低迷が畜産農家の経営を圧迫している。牛肉の販路拡大が大切である。また、作業環境の改善に大地活力センターの牛ふん受け入れ拡充、施設充実に伺う。

市長 大地活力センターの拡充は、牛ふんの搬入量が減っているのを考えていない。飼料補助は、今後の検討である。牛肉の販路拡大に、市場関係者、買参人との情報交換で市のできることを考えたい。



飼料高騰への補助を



二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



おの でら しげし
小野寺重 議員
奥州みらい



市長の政治姿勢を問う

質問 奥州市の課題は医療機関の経営改善も待たなし、公共施設の再編など丁寧に合意を図り、スピード感をもったまちづくりを期待している。市長の公約の実現について伺う。

市長 市長直轄のプロジェクトチームの設置、デジタルを活用した医療、教育、公共交通、農業改革が主な公約。まちづくり、なりわいづくり、ひとづくりの三位一体の改革が重要と考え、未来羅針盤図を策定し、8つのプロジェクトをスタートさせ、進めている。

※7 市制施行20周年記念式典については

質問 奥州市誕生20周年の節目である。しっかり検証し、新たなまちづくりのスタートとしてほしいが。

市長 11月に記念式典を予定している。市民の機運を高め、新たな一歩のスタートにしたい。



奥州市施行 20 周年ロゴマーク



さとう まさのり
佐藤正典 議員
奥州ノート



老人ホームを建て過ぎなのは

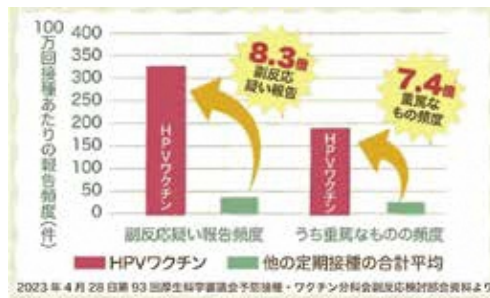
質問 特別養護老人ホーム同士で入所者の取り合いが始まっている。把握している待機者の人数には重複がないかについて伺う。

市長 年に一度調査をしており、人数に重複がないように精査して取りまとめている。内容を踏まえ待機者の状況の推移も含めて適切に検討していく。

HPVワクチンの副反応を分かりやすく

質問 子宮頸がんワクチンは全国的に副反応リスクや報告が多く国への訴訟にも発展している。市民が判断するために分かりやすく伝えるべきでは。

市長 来年度以降、より分かりやすい通知書を作成し、接種をするかどうか判断する材料として必要な情報を提供する。



子宮頸がんワクチンの高い副反応率



おいかわ はるき
及川春樹 議員
新奥会



地域全体で医師育成を

質問 医師養成奨学資金制度の義務履行先の要件緩和を行い地域に根差す医師の確保、育成を進め病院間連携の強化をすべきでは。

市長 病院間連携に資すると考える。病院事業管理者 市立病院に着任されたうえで医師の意向に沿った形で連携を進める。

ものづくり分野の起業の場所の確保を

質問 起業支援のための施設を設置している近隣市と比較すると遅れているのでは。

市長 起業を目指す人への支援は重要と考えている。インキュベーション施設の整備は将来的な課題として捉えている。低コストな起業拠点の提供は市内の空き物件利活用を進める。設備のシェア制度は岩手県工業技術センターや近隣自治体の産業支援施設にあるので広域的な視点で活用を進めるべきと考える。



花巻市起業家支援センターに併設された貸研究棟



こんの ひろふみ
今野裕文 議員
日本共産党



医療等施設への物価高騰対策支援は

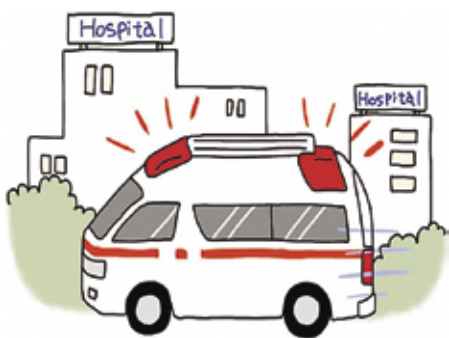
質問 公定料金等の収入に依存している医療・介護・福祉施設の物価高騰支援が必要と考えるが、その考えがないか伺う。

市長 物価高騰に対する支援交付金が交付される際には、効果的と思われる支援について検討したい。

新医療センター建設への考えは

質問 新医療センターの建設についての住民説明会を受けての所感について伺う。

市長 2040年問題への対応や総合水沢病院の老朽化、耐震性能の問題があり、立ち止まることなく前に進めるべきと考える。



なかなか行き先が決まらない救急車



議長 菅原由和

今年3月、日本でラジオ放送が始まってから100年の節目を迎えました。当時、NHKの前身である東京放送局の初代総裁を務められ、その放送の立ち上げに深く関わったのが後藤新平です。開局初日の演説で後藤伯は「放送を出す側は正しい情報を発信し、受け手はそれを正しく理解し活用すべき」と、放送を通じて自治意識と倫理観の重要性を述べられ、これは、フェイクニュースや誤情報蔓延する今の時代にあって、メディアリテラシーの必要性を先取りした、まさに「生きた言葉」であり、後藤伯の先見性を改めて知る機会にもなりました。

奥州市議会では、議員自らが出演しているラジオ番組「電波に乗せて！奥州市議会」を奥州エフエムさんで放送しています。議会だよりでは伝えきれない議会活動に関わる生の情報のほか、議員の人となりなども知っていただき、議会を身近に感じてもらえる機会になればと思っています。

市議会政務活動費
収支報告書を公開



政務活動費は、地方自治法の規定により、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、奥州市では、議員1人当たり月額1万2千円、年額で14万4千円が支給されます。令和6年度の収支報告書、領収書等を公開しました。詳しくは市議会ホームページでご覧いただけます。なお、当市議会では平成29年度分以降の政務活動費に係る領収書のコピー等を公開しており、この取り組みも議会改革度ランキングにおいて評価されています。

用語解説

※8 インキュベーション施設

創業初期の企業や起業家の支援を目的とし、低廉な価格で業務スペースを提供したり、専門家による相談支援や経営指導等を受けられる施設のこと。

用語解説

※7 市制施行 20 周年記念式典

市制施行 20 年の歩みを確認し祝賀する場として、記念式典及び祝賀会が令和7年11月に市内ホテルで開催される予定。「広報おうしゅう」には10年の振り返り特別企画（5月号～9月号。全5回）が掲載中。



二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。